



付属音楽幼稚園

夏まつり



梅雨空がようやく晴れ上がった7月

22日、付属音楽幼稚園で第23回夏まつり「夏だ!!みんなのカーニバル」が行われました。お母さんコーラス・

夏だ!!みんなのカーニバル

フルフルのミュージカル「シンデレラ」では客席の園児も飛び入りで「ガッカーや輪なげ、金魚すくいなど戸外

真剣なまなざしで絵付けをする園児も。久しぶりの晴れ間に園児たちはミニサタード「たんぽぼ」(てしま幼稚園内)で、乳幼児と保護者に演奏を披露しました。

大阪音楽大学のアイル木管五重奏団とクラリネットオーケストラが7月15日、豊中市の幼稚教育支援センター「たんぽぼ」(てしま幼稚園内)で、乳幼児と保護者に演奏を披露しました。

同支援センターは幼児教育の振興と子育て支援の充実を図るため昨年6月に設けられました。市は市制施行70周年と開設1周年を迎え、市民

月15日、豊中市の幼稚教育支援センター「たんぽぼ」(てしま幼稚園内)で、乳幼児と保護者に演奏を披露しました。



母親が子育て

子育て支援フォーラム
本学学生が演奏

に幼児教育の重要性をもつと認識してもらおうと記念フォーラムを企画。本田耕一教授が同市教育委員を務めていることから演奏会には

本学の学生が日本代表のキヤブテン、宮本常靖選手の阪所属でW杯

ノキオ」の主題歌「星に願いを」など3曲、身野陽子さん(同)ら16人

出演。講演会ではガンバ大阪所属でW杯

W・A・モーツアルトのセレナード

第13番ト長調「アイネ・クライネ・

ナハトムジーク」など4曲を演奏、

お母さんたちから大きな拍手を受け

ていました。

演奏会は午後2時から、本田教授が司会し、楽器の特色を紹介しながら演奏曲を解説。渡邊町奈さん(大

阪)らアイル木管五重奏団が映画「ピ

ー」(大)

平和願い卒業生ら熱演
被爆ピアノコンサート

平和願い卒業生ら熱演

トOCMに勤務する鶴田由里子さん。

「世界が一つになるまで、ずっと手

をつないでいよう」。

平和を祈る子どもたち

のメッセージが会場い

っぱいに響き渡りました。

フィナーレは出演者と会場がひとつになつて、J・フォンタナ&C・ペスの「ケ・サラ」を大合唱、演奏会の幕を閉じました。

山田さんは満席の会場に向かって「このピニスト」で流れたF・ショパンの「ノクターン20番嬰ハ短調(遺作)」などを演奏しました。悲しみと怒り。ついていたと聞きました。それを思う

時には強く、そしてやさしく。

2部では地元の少年少女合唱団の

演奏で、「世界がひとつになるま

で」などを合唱。指揮は本学チケッ

被爆者24万人の悲しみと怒りが刻まれた一台のピアノが61年の時を超えて、美しい音色を奏みました。8月20日、大阪・豊能町のユーベルホールで催された「被爆ピアノコンサート」。ステージでは総勢70人の出演者が、本学卒業生の演奏するピアノに合わせ、平和の心をたっぷり聞かせてくれました。

このピアノは1945年8月6日、広島の原爆投下で被爆した「戦争の生き証人」。調律師の手で修復され、奇跡的によみがえりました。

山田紗耶加さん(79年短大卒・音楽専攻)のしなやかな指が鍵盤を自由自在に。被爆ピアノに捧げるため自ら作曲した「綿のぼうし」と「小石の涙」。続いて森下保子さん(68年大卒・ヴァイオリン)が山田さん

の伴奏に合わせ、映画「戦場のピア

ニスト」で流れたF・ショパンの「ノクターン20番嬰ハ短調(遺作)」などを演奏しました。悲しみと怒り。ついていたと聞きました。それを思うと悲しくて、いとおしくて演奏中、鍵盤が涙で曇つてきました。これからも平和への心を歌い続けていきま